

(9)

2019年2月22日(金曜日)



パネルや伊藤博文の書を展示

会津との縁を知って

御坊寺内町会館でパネル展

御坊市本町の御坊寺を受けて回復。この縁で展示されていた解説内町会館で、パネル展がきっかけで山川と中野家の交流が続いた。

「会津藩士の戊辰戦争」紀州(御坊)の人々が助けられた会津藩士について広く知ってもらおうと、ことし1月中旬まで戊辰150周年を記念して会津若松市歴史資料センター

会津藩士は約150年前、鳥羽伏見の戦いで敗れ、和歌山を経由して江戸に帰った。山川浩は御坊に落ち延びた際、小松原村で旅人宿「中屋」を営んでいた中野家の手厚い看護

御坊でのエピソードや会津藩が斗南を拝領するまでの会津藩士の行動などを紹介するパネル10枚。このほか、御坊市湯川町財部、往生寺所蔵の会津藩士丸山抱石から贈られたとみられる書、伊藤博文直筆で御坊小学校校長室に飾られていた書「御坊鬘」のレプリカ

も展示している。

片山隆館長は「会津との関係をぜひ知ってほしい」と来館を呼びかけている。

開館日は毎週火、金、土、日、祝日午前11時から午後4時まで。